

令和3年度 町行政施策及び予算要望事項について

要望日 令和2年7月30日

回答日 令和2年11月5日

進捗状況報告日 令和3年10月予定

総務常任委員会

1 防犯対策の強化

- ① 防犯カメラの設置（警察と連携し防犯対策）
- ② あみプレミアム・アウトレット周辺への交番設置（防犯，騒音対策）

（回答）

- ① 町内主要交差点6箇所に設置しておりますが、今後は、防犯カメラ設置方針等を基に、具体的な設置箇所等について警察と協議連携しながら街頭防犯カメラの設置を検討してまいります。
- ② 引き続き要望してまいります。

2 防災対策の強化

- ① 庁舎・公民館・図書館・総合運動公園の公共施設へのWi-Fi環境の整備
- ② 消防団員の処遇改善（手当の増額，優遇制度の設立等）

（回答）

- ① 役場本庁舎については平成30年度に整備済みであり、教育委員会の施設は令和3年度からWi-Fi環境を順次整備していく計画となっております。
- ② 一般団員の年間報酬については、令和元年度から報酬額を改定し、10,400円から20,000円に引き上げたところですが、未だ県平均の年間報酬額には達していない状況であります。今後も、中長期的に段階的な報酬額及び出場手当額の増額を検討してまいります。また、消防団員の優遇制度について、近隣市町村の事例を調査して、その効果を確認し、導入の是非を検討してまいります。

3 防疫対策の強化

- ① 避難所の「感染症」対策強化（避難訓練の計画・実施）

(回答)

- ① 新型コロナウイルス感染症に対応した避難所開設訓練を健康づくり課、竜ヶ崎保健所の協力を得て、7月にかすみ公民館と中央公民館で実施いたしました。11月には本郷ふれあいセンターで、地域住民を含めた訓練を計画しております。

4 ゴミと産業廃棄物不法投棄への解決と防止対策

- ① パトロール・監視カメラの強化及び不法投棄物の回収強化

(回答)

- ① 不法投棄や不適正残土の不法行為を日常的に監視するため、警察官OBの環境保全監視員による町内パトロールを実施し、事案の早期発見と未然防止に繋がる監視活動の強化を図ってまいります。

また、監視カメラを増設するほか、悪質な不法行為等の事例が発生した際には、県や警察との連携により厳正に対処し、監視や抑止体制の充実強化に努めてまいります。

さらに、シルバー人材センターによる不法投棄パトロールや町内クリーン作戦の実施等、町ぐるみのポイ捨て防止意識の啓発やごみの回収強化に努め、環境美化の推進に取り組んでまいります。

民生教育常任委員会

(保健福祉部)

1 障がい者に優しいまちづくり

- ① 全ての課において前年を上回る障害者優先調達推進法の実践に取り組む
- ② 農福連携や民間企業への周知により雇用機会を拡大する

(回答)

- ① 町では、障害者優先調達推進法に基づき、障害者就労施設からの物品等の調達について毎年度調達方針を定め、調達に関する目標額達成を目指し取り組んでおります。

前年に引き続き、全庁での取組を推進するため、各課に優先調達法の趣旨の理解と障害者就労支援施設に対する物品や役務及び委託等の周知を図り、障害者就労施設の受注機会の拡大に取り組んでまいります。

- ② 民間事業者による障害者の雇用促進について、茨城障害者職業センターや、ハローワーク、障害者就業・生活支援センター等と連携し就労支

援に努めるとともに、雇用契約に基づく就労が困難な方に対しては、就労継続B型事業所の拡充に努めてまいります。

また、農福連携も視野に入れ、農福連携実施事業者と情報連携を取りながら就労機会の拡充が図れるようにしてまいります。

2 子ども食堂やフードバンクへの支援

(回答)

現在、子ども食堂を開設、運営いただくための支援として、開設補助及び運営補助の内容を検討しております。県内等の市町村における子ども食堂への支援内容等を調査し、支援実施に向けて検討してまいります。

現在フードバンク事業への支援として「きずなBOX」の公共施設への設置を行うと共にフードバンクの活動内容等について広報紙へ掲載し、町民の方への周知を行っております。

新規の参入が有りましたら同様に支援を行ってまいります。

3 国民健康保険均等割の改善

(回答)

国民健康保険の均等割は、子どもを含め、加入する世帯員が多くなる程、負担する国保税が多くなりますが、均等割・平等割については、所得に応じて7割・5割・2割の軽減制度が設けられております。

また、茨城県において令和4年度から県内市町村の賦課方式を2方式(所得割・均等割)に統一する方向で検討が進められることになりました。

これらのことから、令和3年度での均等割の軽減は検討しておりません。

4 介護職員及び障がい者施設職員の処遇改善

(回答)

介護職員及び障がい者施設職員の安定的な処遇改善を図るため、国では必要な要件を満たした介護保険事業所及び障害者支援施設等で働く福祉・介護職員の方の賃金改善を行う制度が設けられております。

介護保険事業所においては「介護職員処遇改善加算」、 「介護職員等特定処遇改善加算」制度により、障がい者施設については「福祉・介護職員処遇改善加算」、 「福祉・介護職員処遇改善特別加算」、 「福祉・介護職員等特定処遇改善加算」制度により、職員の賃金改善が図られて

おりますので、現在のところ町の独自の処遇改善制度を設けることは考えておりません。

(教育委員会)

1 第2子以降及び中学3年生の給食費を無料にする

(回答)

段階的に拡大していく考え方で、令和2年度から第3子を数える兄弟の年齢を18歳以下として3歳引き上げており、これにより254名、948万円が無料になっています。令和元年度は139名であったので前年度比で、約1.8倍の拡大になっています。

第2子を無料にすると、約1000名、4,500万円になり、令和2年度と比較して約5倍の拡大になります。

また、中学3年生の給食費を無料化にすると407人、1,920万円になり、約3倍の拡大になります。

このような試算から、一度に3倍から5倍になる拡大は慎重に考える必要がありますが、段階的に、適切な拡大条件を検討していきたいと考えております。

2 教育環境の整備

- ①教育のICT化並びにGIGAスクール構想を促進させる
- ②家庭学習のための通信機器の整備を促進させる

(回答)

- ① 令和2年度に小中学校校内通信ネットワークの整備及び児童生徒1人1台端末の整備を行う予定です。今後、導入端末等の仕様マニュアルやICT整備計画等について、GIGAスクールサポーター及び各学校・教育委員会と連携し、検討してまいります。
- ② 児童生徒に貸し出し可能なモバイルWi-Fiルータ等を整備することにより、Wi-Fi環境の整えられない家庭においても家庭学習が可能となるインターネット通信環境を提供できるよう検討してまいります。

産業建設常任委員会

1 ひたち野うしく駅周辺及び牛久阿見IC周辺開発整備促進

(回答)

ひたち野うしく駅周辺については、近接する荒川本郷地区における市街化の熟度を的確にとらえながら、牛久市との連携も視野に入れ、検討してまいります。

牛久阿見 IC 周辺地区については、首都圏中央連絡自動車道の 4 車線化、アクセス道路の整備スケジュールを踏まえながら、都市計画上の課題の整理及び事業の必要性についてまちづくり基本調査にて検討してまいります。

2 町道第 0104 号線フタムラ化学前、右折レーンを含む交差点改良工事

(回答)

昨年度実施した交通量調査の結果を基に警察と協議を重ね、信号機のサイクルタイムの変更による渋滞解消の対策を行いました。変更後の警察の事後調査によると、現在のところ渋滞はほぼ発生していないことが確認されております。

今後は渋滞の状況を観察しつつ、さらなる対応が必要となった場合には、改めて検討してまいります。

3 都市計画道路「中郷・寺子線」の残余部分の早期整備

(回答)

「中郷・寺子線」を含む新たな都市計画道路の整備につきましては、現在整備を進めております「寺子・飯倉線」の進捗や財政状況等を勘案しながら検討してまいります。

4 雨天時における雨水排水路付近の冠水箇所の現状調査

(回答)

雨天時に大きな冠水が起こる場所につきましては、これまでの記録や経験により、市街地を中心に一定の把握はできております。

今後も引き続き冠水箇所の詳細調査を進め、対策を検討してまいります。

5 道路側溝の蓋掛け推進

(回答)

道路側溝の蓋掛けについては、行政区からの要望を基に現地調査の上、必要に応じて対応しております。

側溝の蓋掛けは安価で済むメリットがありますが、蓋の掛かっていない側溝は、設置年度が古く老朽化していることが多いため、蓋掛けした後の荷重で壊れやすく、また、蓋の厚み分だけ道路面より高くなってしまい段差が生じるという欠点があります。

蓋掛けの他には、側溝と蓋が一体になった新しい製品に入れ替える方法がありますが、多大な費用がかかってしまうため、数多く対応できないのが実状です。

以上のことから、今後もそれぞれの現場での必要性や地域の実情をよく見極めた上で、蓋掛けだけでなく、製品入れ替えの工法も検討に加え、安全で安心な道路となるよう道路側溝の蓋掛けを推進してまいります。